

令和3年第10回大仙市教育委員会定例会議事録

令和3年第10回大仙市教育委員会定例会を令和3年10月29日(金)午後3時30分から大仙市役所大曲庁舎3階大会議室において開催した。

出席者

教育長	伊藤雅己
委員	風登森一
	工藤浩一
	中島康
	高見文子
	伊藤勝良

説明員

事務局長	築地高
次長兼教育総務課長	田口広龍
次長兼施設管理課長	讚岐敬司
次長兼教育指導課長	高橋規子
次長兼教育研究所長	山信田浩
次長兼学校給食総合センター所長	佐藤正道
生涯学習課長	大沼利樹
総合図書館長	伊藤ひろみ
総合市民会館長	品川雄喜
花館公民館長	加藤登紀子
神岡中央公民館長	渡邊一光
大綱交流館長	齊藤良子
中仙公民館長	高橋千秋
協和公民館長	阿部成吾
南外公民館長	佐藤マキ
仙北公民館長	竹村智子
太田公民館長	草薨晶子

書記

教育総務課参事	佐藤到
---------	-----

付議案件

なし

伊藤教育長

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、全員御出席です。書記に、佐藤参事を指名します。

ただいまから、令和3年第10回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

次第の3番、教育長報告に入ります。

遠くの間山々からは、初雪の便りが聞かれる季節になりました。新型コロナウイルス感染症については、まだまだ油断はできませんが、やや落ち着いた状況にあり、各学校や公民館をはじめとする社会教育施設では、感染予防の徹底を図りながら、年度当初の計画に近い形で教育活動や各種事業を実施できないか模索しております。

一方、小・中学校では前期が終わり、後期がスタートしております。修学旅行や学習発表会などの大きな行事に加え、指導主事訪問等による授業研究会が多い時期を迎えており、1年で最も充実した時期に入った感があります。併せて、全ての小学校では、来年度入学予定の1年生に係る就学時健診が行われるなど、次年度を見据えた下準備も始まっております。

それでは、資料の1ページをご覧ください。

最初に学校教育関係です。今月は6校の学校を訪問しております。新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことから、訪問者数や日程については、全体会を行うなど、当初の計画どおりの内容で実施いたしました。

特色ある教育活動として、「ビブリオバトル2021 IN AKITA 大仙大会」が10月23日に開催され、チャンプ本に南外中学校1年の伊藤那由多さんが選ばれ県大会出場を決めております。「ビブリオバトル」は、「知的書評合戦」とも言われ、自分のおすすめ本について身振り手振りを交えながら5分間で紹介し、参加者全員が一番読みたい本に投票しチャンプ本を決めるというものです。読書活動の充実につながる活動として取り入れる学校が増加しており、各県代表による全国大会も開催されます。県大会は、11月23日に秋田拠点センターアルヴェで開催されます。

中学校の全県秋季大会（新人大会）が開催されておりますが、競技別の日程で開催されておりますので、全ての競技終了後に、改めて報告いたします。

研修等については、10月7日に市教頭会第2回定例会が開催され、市教委から事故防止のお願いやGIGAスクール構想の進捗状況等の説明をしております。また、10月28日には、大曲仙北教育研究会の秋季研究会が行われました。今年度は、新型コロナウイルス感染症に配慮し、実際の授業ではなく、事前に撮影した授業動画や実践発表等をもとに、研修が行われました。

次の社会教育関係については、この後、関係課所長等に報告させます。

部局等との連携行事等については、特にありませんでした。

児童生徒の安全・安心面では、ノロウイルスの発生や大きな交通事故はありま

せんでした。新型コロナウイルス感染症関係では、臨時休業等の措置はありませんでした。ただ、国から抗原検査キットの配付がありましたので、詳細については、後ほど局長より報告させます。併せて、前回の委員会で話題になりましたワクチン接種に係る児童生徒の状況についても報告させます。

その他ですが、市議会議員選挙が行われたことから、議長・副議長の選出や各種委員会等、議会の組織を決めるための臨時議会が10月7日に開催されました。教育厚生常任委員会の委員については、別紙資料を参照ください。

以上で、私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきます。

まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

2ページを御覧ください。

教育総務課は、2項目記載しておりますが、1項目目の「課(所)長・施設長会議」についてです。4月当初に各部署で今年の課題を洗い出しておりますが、今年度も下半期に入ったということで、その解決に向けた対応策などの進捗状況について、情報交換や意見交換を行っております。教育総務課は以上です。

伊藤教育長

次に、施設管理課長、お願いします。

施設管理課長

施設管理課からは、工事関係についてですが、市内中学校空調設備設置工事の後期分が着工しました。工期は来年1月21日までとなっており、対象校は、大曲南中、西仙北中、協和中、南外中、仙北中の5校であります。以上です。

伊藤教育長

これで全ての中学校が終わるということですよ。

施設管理課長

はい。これで小学校、中学校合わせて全部終わりということになります。

伊藤教育長

はい。

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課からは、8項目挙げております。

1項目目、学習発表会ですが、9月に新型コロナウイルス感染症が学校でも発生し

たため、記載の中仙小、高梨小は、9月の予定を10月に変更して行いました。

3項目目、修学旅行について、記載の小中学校は、予定どおりの実施でした。以上です。

伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターは、記載の3項目のとおりです。

1番については、採用が1人決定、11月1日から出勤予定となっています。

3番の、「ふるさと給食献立コンテスト表彰式」については、最優秀賞、優秀賞、アイデア賞を受賞した児童とその保護者28人、関係者を合わせ38人出席し、盛大に開催されました。以上です。

伊藤教育長

優秀な作品は、実際に給食として出されますよね。

学校給食総合センター所長

はい、そうです。

伊藤教育長

はい。次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課の行事は、記載の5項目のとおりです。

2番の10月24日に行われた、大仙市芸術文化協会大曲支部主催の「令和3年度大曲地域文化祭」では、感染症拡大防止を徹底するため、本来であれば10月23、24日の両日開催の予定でしたが、1日目の絵画や書道、写真などを展示する創作展を中止し、2日目の芸能発表のみ、大曲市民会館において開催しております。会場の市民会館では、出演者と出演する団体など関係者のみの入場規制を行い、出演者、保護者など、延べ260人の来場者を数えております。出演した団体の方々からは、新型コロナウイルス感染拡大により日頃の練習の成果を発揮する場所がなく、このような機会を作っていただき感謝するという声をいただいております。生涯学習課からは以上です。

伊藤教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館では、3項目記載しております。

10月9日には、おはなし会を開催し、2人に参加いただいております。

そのほか、図書館見学に、10月22日は角間川小学校、本日29日は藤木小学校から2年生が参加し、館内を見学していただいております。以上です。

伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館からは、3項目記載しております。

2番については、共催事業として「高嶋ちさ子さんのコンサート」を、10月12日、721人のお客様を迎えて無事終了しております。以上です。

伊藤教育長

続いて、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長

花館公民館では、大曲地域の公民館行事を8項目記載しております。

2番、「四ツ屋まつり」に関しては、自宅での花火鑑賞でしたが、「FMはなび」でライブ中継をして、実行委員長の齋藤健太郎氏の解説を交えながら放送しております。

7番の、四ツ屋地区三世代交流については、6年生の巣箱作りと記載しておりますが、本棚に変更となりました。以上です。

伊藤教育長

「巣箱」の部分が、「本棚」に変更とのこと。

次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長

神岡中央公民館からは、5項目記載しております。

5番目の、「神岡地域文化祭」については、展示のみの開催となり、例年のように物品販売やステージ発表が行われなかった分、来場者数が減少したものです。以上です。

伊藤教育長

次に、大綱交流館長、お願いします。

大綱交流館長

大綱交流館は、3項目記載しております。

3番の「にしせんぼく文化祭」については、大綱交流館が選挙の投票所となっていることから、11月13、14日に延期しております。以上です。

伊藤教育長

選挙の影響で延期とのことですが。

次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館からは、6項目記載しております。

2番、4番、5番の子育て講座について、中仙、清水、豊成の各小学校で開催しております。3校でそれぞれ講師をお招きして講演をしていただき、講演の後に参加者らによる情報交換、意見交換を行いました。各家庭での事例などを挙げながら、参加者同士で情報共有するいい機会となりました。以上です。

伊藤教育長

就学時健診に併せて行ったものですね。

中仙公民館長

はい。そうです。

伊藤教育長

次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長

協和公民館は、7項目記載しております。

6番について、協和上ノ山Ⅱ遺跡出土の「どんぐり圧痕土器」を明治大学黒耀石研究センターが調査し、シリコンレプリカを採取したものです。以上です。

伊藤教育長

次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長

南外公民館は、5項目挙げております。

4項目目、南外ジュニア起業体験学習は、南外支所の地域活性化推進室が主導する事業ですが、南外中学校や地域学校協働活動推進員、地域ボランティアなども協力して行いました。事業は、南外中学校の2年生が3社の仮想の会社を立ち上げ、学校祭で会社説明会などを行っております。当初は、南外地域祭での商品

販売会を予定していましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため、さいかい市の皆さんから協力をもらいながら、さいかい市の隣の南外民俗資料交流館で地域住民向けの販売会を実施しております。悪天候でしたが、保護者のほかチラシを見て集まった地域住民や、近くのデイサービス施設を利用しているお年寄りなど100人ほどの集客があり、楽しそうに中学生と会話して、帰り際にさいかい市で買い物をするなど、実りの多い販売会となりました。以上です。

伊藤教育長

次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長

仙北公民館は、6項目挙げております。

一つ目の、暮らしの達人講座は、コロナの関係で中止としましたが、特別に人気がある講座のため、3月頃に振替開催できないか協議しているところです。以上です。

伊藤教育長

最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

太田公民館からは、5項目挙げております。

1番の山登り教室ですが、10月3日、秋田駒ヶ岳、乳頭山に17人参加しております。この講座は、今年度の実技を10月で終了し、11月からは座学を開催する予定となっています。以上です。

伊藤教育長

以上、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。コロナの感染が拡大傾向にあった時期ということで、やはり影響を受けたようです。

ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

工藤委員

先ほど、仙北公民館長さんから、大変人気のある講座を3月に開催することについて検討中だという報告がありました。4月から今まで、各公民館では中止となった事業がたくさんあると思いますが、報告ではフィールドワークを実施したりなど、ピーク時に比べて動きが増えてきたように見受けられます。コロナが大分落ち着いてきた中で、事業実施の再検討や、活動を増やしていくことについて検討されている公民館はありますか。

伊藤教育長

各公民館で、この後復活といいますか、既に中止となっているものを延期的に実施したいと考えている公民館がありましたら発言をお願いします。例えば、実施したいという声があるものや、実施を検討しているというものはありますか。

各公民館長（発言なし）

伊藤教育長

ないようですね。やはり、まだまだコロナが心配ということで、改めて復活させようとはまではいかない、という感じでしょうか。

残念ながら、そういう状況のようです。

ほかに、委員の皆様から何かございませんか。

工藤委員

そのような事業が他にはない、ということはわかりました。一旦イベントがなくなってしまうと、また人を呼び込むというのは、本当に大変だと思います。中心になり大変な思いをして携わっていた人が楽だなど思ってしまい、また開催するとなるとかなりパワーが必要となりますので、その人間関係などを皆さんはうまくつなぎとめて、来年度しっかり開催できるようにしていただきたいと思いました。よろしく願いいたします。

伊藤教育長

ありがとうございました。どうか、来年度に向けてつなげていくことを意識して、この後もお願いいたします。

ほかに、ございませんか。

各委員（なし）

伊藤教育長

それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

今回は付議案件がございませんので、次第の4番、その他に入ります。

はじめに、「ワクチン接種と簡易キット」等について、事務局長から御報告いたします。事務局長、お願いします。

事務局長

前回の委員会で、児童生徒に対して、ワクチン接種後の激しい運動を控えさせることについて話題になりました。その話を受け教育委員会では、10月19日付けの電子メールで、各小中学校長に対し情報提供とお願いをしました。内容と

しては2点です。

まず一つ目は、コロナワクチン接種会場で渡しているチラシは、このようなものを実際に渡しておりますが（チラシを提示）、接種後に激しい運動を控えてほしいという注意喚起のチラシを、市民に対して今、渡しているということをお伝えしました。チラシのデータを添付し、まずは、先生たちに周知いただくようお願いしたところです。

二つ目としては、体育の授業や部活動において、児童生徒又は保護者からワクチン接種に係る申し出があった際には、激しい運動を控えさせるなど、対応について配慮していただきたいことをお願いしました。もちろん、通常健康観察で体調を把握することは当然必要ですが、更に留意いただきたいということでのお願いです。また、部活動等で外部指導者がいる場合には、その方にもお知らせして下さるよう、併せて依頼しております。

なお、ワクチン接種を受ける場合の出欠の取扱いについては、校長の判断によって出席停止とし、欠席としない扱いとするよう各校に通知しております。これは、副反応で学校を休む場合も同様、ということでお伝えしております。

次に、お手元の資料No. 1、抗原簡易キットの活用マニュアル、カラーのものについて、簡単に御説明いたします。

国が全国の小中学校に、新型コロナウイルス感染症の抗原簡易キットを配布したことは報道のとおりですが、こちらが実物です（抗原キットサンプルを提示）。このような一箱に、10回分の検査用の綿棒や試験薬といったものが入っております。こちらを、各校に一箱ずつ既に配布しております。更に、お手元の資料No. 1のマニュアルを、今週火曜日、各校に送付いたしました。このマニュアルは文部科学省が作った「活用の手引き」というものをより分かりやすくフロー図のようにし、学校で活用できるようにまとめたものです。検査キットは、基本的には教職員に使用することを想定しています。ただし、登校後に体調不良を来した小学4年生以上の児童生徒が家庭の事情ですぐに帰宅できず、又、医療機関を受診できないような場合に限り、補完的な対応として使用できるというものです。ただし、これまでの状況を振り返りますと、この地域では、医療機関が一般市民の診察が不可能なほど逼迫した状態になったということはありませんので、実際に児童生徒に使用するという場面は考えにくいというのが正直なところですが、各校には、もしもの時を想定して検査に必要な備えを進めるようお願いしているところです。この検査キットを使用する必要性が高まったと委員会で判断した際には、改めて各校に通知するものとしております。なお、各校には、本マニュアルと併せて、保護者向けの文書も配布しております。キットの使い方や今後の予定をお伝えするために、この後、学校が活用すると思います。説明は以上です。

伊藤教育長

ありがとうございます。委員の皆さんに簡易キットをお見せできればと思い

ます。回して御覧ください。少々時間を取りたいと思います。

国から配布されたものを受けて各校には配布済み、併せてこのマニュアルを先日配布したところですが、若干補足しますと、これを使用する時には、マスク、フェイスシールドや手袋、ガウンやキャップを着け、きちんとした対策をした上で行うということです。最低限必要なガウン、キャップ等については市の総合防災課にお願いして各学校に配布済みということです。

もう一つ、これを使用する場合には、必ず事前研修を受けた教職員の立会いが必要となっており、従って、教職員は事前に、オンライン研修にはなりますが、研修を受けておくことが必要とされています。併せて、きちんとした部屋、いわゆる保健室等の出入りのある部屋ではなく、全く別の部屋を準備して行うことも示されておりますので、学校としては非常に大変な、細心の注意を要する作業ということになります。

いずれ、市内の病院等での受診が難しい状況となったときに、市教委として簡易キットを使用するOKを出すこととなりますので、当面学校では、キットの保管とマニュアルに基づいた事前の準備を進めていくといった対応を想定しております。

中島委員

国の方針でやらざるを得ないのだとは思いますが、私の施設でも実施していますが、かなり気を遣わなければいけません。検査では、かなり高い確率でくしゃみをされます。おそらく自己採取方式だと思いますが、飛沫がかなり飛び散りますので、自家用車の中か、建物の外で採取する形になります。

立ち会う際のガウンやフェイスシールドなどの防具は、使用後は感染性廃棄物になります。普通の燃やせるごみには出せなく、特別な業者に引き取ってもらいます。また、使った綿棒などは普通のごみ箱には絶対捨てられませんので、次亜塩素酸で全部消毒し、それから感染性廃棄物として処分することになります。

感染リスクがあるので、私の施設では看護師には立ち会わせず、全て自分が行っていますが、学校でするのには相当気を遣わないとリスクが高いと思います。

また、簡易キットでは偽陰性、偽陽性があり、結局、医療機関を受診しなければいけませんので、国の方針でしょうけれども、よほどの場合以外は行わない方がいいかと思われまます。医療機関を受診させた方がいいと思います。

伊藤教育長

貴重な、専門的な見地からの御意見、ありがとうございます。使用後のことについて、事務局長は、分かる範囲で何かありますか。

事務局長

使用後のものの処理については、詳細は詰めておりませんでした。この後、担当とも話をして確認し、学校へも伝えて行けるような形にしたいと思います。

伊藤教育長

国からの指示について、我々の方でも十分に消化できておりませんでしたので、この後、マニュアルに反映できるように対応してまいります。

事務局長

マニュアルの下の方に書いてありましたが、詳細について十分に把握できていないところもありますので、改めて伝えられるようにしてまいりたいと思います。

伊藤教育長

ここでは、密閉して廃棄とだけになっていますね。中島先生のお話ですとそれだけでは不十分ということですよ。

中島委員

そうですね。普通の燃やせるごみでは出せないことになっています。感染性廃棄物という扱いで、特別に業者から引き取ってもらう形になります。

伊藤教育長

ありがとうございます。やはりここは我々が確認しなければいけないところだと思いますので、担当の方でよろしく願いいたします。

委員の皆様、いかがでしょうか。何か、お気づきの点はございませんか。

いずれ、学校には先日配布したところですので、今後、学校からも様々な問い合わせが来るだろうと思っております。使用に向けた準備は進めますが、使うことのゴーサインは、市教委としてはまだ出しません。やはり原則は、帰宅して医療機関に行くというのが最優先ですので、本当にやむを得ないときに、という扱いになります。よろしいですか。

各委員（なし）

伊藤教育長

では、次に進めさせていただきます。

前回に続き、令和3年度全国学力・学習状況調査について、教育研究所長から報告させます。教育研究所長、お願いします。

教育研究所長

今回は、概要についてお話いたしました。今回は、8月31日に文部科学省から全国の結果が公表されたものを基に、教科に関する調査と、児童生徒質問紙の調査結果について御報告いたします。

はじめに、教科に関する調査結果について御報告いたします。資料のNo. 2を御覧願います。

中ほどにグラフが全部で8つあり、左端のグラフは、上段が小学6年生、下段が中学3年生です。平均正答率は、本県と同程度か上回っていることから、引き続き良好な状況にあると捉えております。

その隣が、領域別から記述式問題についてです。国語は、小・中学校ともに本県と同程度か上回っていますが、やはり、算数・数学は課題が見られます。特に、図形の領域は、小・中学校ともに県平均を下回っており、小学校では、全国平均をも下回っている状況です。図形を構成する辺や角などの要素に着目し、必要な情報を選び出したり、常に成り立つ性質を見出したりして、自分の言葉で表現する活動を、今後更に充実させていく必要があると考えております。

教育委員会としては、前回同様、再度改めてフォローアップシートを作成し、課題が見られた領域の指導の充実と改善に努めております。また、今年度から本格的な活用を進めているタブレット端末、又、学校訪問等による授業を核とした学びの深まり・広がりを進める指導助言等によって、各学校の取組を支援しているところであります。教科については、以上です。

続いて、資料No. 3を御覧願います。

児童生徒質問紙については、全部で69個の質問がありますが、その中から、挑戦心や自己有用感といった児童生徒の心の面と、地域や社会への関心、本年度から本格的に始めているICTの活用、新型コロナウイルス感染症の影響の、4つの分野において考察をしております。

1番上の心の面については、引き続き良好な状況にあると捉えております。

地域行事の参加については、小学校において県平均を下回っております。新型コロナウイルスの影響が考えられますが、一方では、一番下のグラフですが、新型コロナウイルスの影響で令和2年3月から4月にかけて全国一斉の臨時休校がありましたが、休校中の暮らしについて、学習に不安を感じた児童生徒の割合が高い中で、計画的な学習や規則正しい生活が実施された、という結果が示されてあります。これは、大仙教育メソッドに基づいた学校と家庭、地域との連携による成果と捉えているところです。

ICTの活用については、全国平均と比較しても大変大きく下回っている状況です。ただ、委員の皆様や公民館長をはじめとして、今、学校訪問で御覧いただいているとおり、各学校では、ICTを積極的に活用する姿が見られます。教育委員会としても、今後の中長期的な方向性を示しながら、学校と一体となりICT活用を推進していきたいと考えております。

最後に、下段の学校質問紙について、全部で102個の質問があった中から、ICT活用、小・中連携、家庭や地域との連携の面で考察しております。

ICT活用については、児童生徒と同様に、全国平均と比較して大きく下回った状況ですが、実施した学校も見られるオンライン授業の準備などを現在急ピッチで進めているところです。

小・中連携については、引き続き良好な状況にあります。

最後の段ですが、保護者や地域による学校授業等への参画について、「良く参加している」や「参加している」といった肯定的な回答は、グラフのとおり全国や県と似た割合となっておりますが、「良く参加している」のみを見た場合、小学校での「良く参加している」という回答は約半数程度、中学校においてはゼロといった状況でした。一昨年度の調査に比べ、かなり少ない数字となっております。今年度は、新型コロナウイルス対策として取組の中止、又は制限があったことが影響したと考えているところです。

以上、全国学力・学習状況調査について説明いたしました。なお、各学校の詳しい状況については、11月の校長会でお示しし、各学校の指導に生かしていきたいと考えております。説明を終わります。

伊藤教育長

ただいまの報告について、何か御質問等ございませんでしょうか。

伊藤委員

ICTの活用についてですが、学校訪問として、実際に学校で活用しているところを見させていただいております。子どもたちに対しては、授業でいろいろと工夫されていると思いますが、先生方においては、情報交換して何か取り組んだりされていますでしょうか。

教育研究所長

先生方の研修という形で、外部の業者をお願いして現在行っています。時間や内容についてそれぞれの学校の要請に従い行っているところです。また、各学校から代表者に出席してもらい、全体の推進委員会を何度かオンラインで実施しています。この後、各学校に、小学校であれば低学年部局や高学年部局、中学校であれば各9教科の部局を作り、各部局がオンラインによりつながることにより学校間の連携を図っていきたいと考えております。

伊藤委員

ソフトウェアの分野ですと、オープンソースとして皆で共有し、皆で修正してより良くしたりしていますので、先生方も作成した資料等を公開し、皆でより良いものを作っていけばいいのではないかと思います。今、研修などをされているようですので、そういった取組をお勧めします。

伊藤教育長

先生たちは、今ようやくICTを使用するという面でスタートラインに立ったところで、次の段階として、伊藤委員が提案されたようにいよいよ本格的な学校間の情報交換等に向けステップアップしていきたいと考えておりますので、

この後も御助言等をよろしくお願いたします。

ほかに、ございませんでしょうか。

風登委員

学校質問紙のICTを活用した学習状況の部分において、ばらつきが大きいのは理解できますが、例えば教育研究所では、県内25市町村の状況把握等はされているものでしょうか。

教育研究所長

正直なところ、目の前の取組で手が一杯で、他市町村の状況は把握していないのが現状です。

風登委員

そういう情報は、県の教育庁からもらえませんか。というのも、県と大仙市の平均でこんなに大きなばらつきがあることを知り、先進自治体、先進校から学ぶべき点が多々あるような気がします。大仙市も兎に角頑張っているのは分かりますが、これだけ目に見えるほどの差があるということは、いろいろと打つ手があると思います。

教育研究所長

先進地域を把握することから始め、情報をいただきながら進めて行ければと思います。ありがとうございます。

風登委員

よろしくお願いたします。

伊藤教育長

県教委でも、全県6校、小・中学校3校ずつ、指定校を設けております。残念ながら大仙市の学校は当選しませんでした。いずれ、指定校からの情報提供が年度内にはあると思います。今のところはまだありませんよね。

教育研究所長

今はまだありませんが、1月にこのことに関する会が予定されています。

伊藤教育長

その時期に、全県の状況が分かるかと思います。ただ、大仙市においても、目の前のことに精一杯でありながら進んでいる学校もあり、教育研究所から各校にいろいろな形で情報提供していますので、この後どんどんステップアップできるように努力したいと思います。ありがとうございます。

ほかにはございませんか。

私の中では、地域行事や地域との関わりが低くなったことが非常に気になります。大仙教育メソッドによって他市町村よりかなり良くやっていたと思います。きちんとした分析はまだですが、高い水準で実施できていたものが、コロナの影響によりほぼできなくなったことが、大きな要因であろうと個人的には思っています。コロナの状況を踏まえ、この後も地域等との連携を進めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

併せて、ICT活用の面で、GIGAスクールに関するところは、後日の総合教育会議で具体的状況をお伝えしながら、御意見を伺うこととしておりますので、その際にもよろしくお願いいたします。

それでは、その他になりますが、この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、教育総務課長から次回の日程についていたします。

教育総務課長

次回の日程の前に、既に総合教育会議の通知は差し上げておりますが、11月10日、3時半から、場所は隣の第1委員会室になりますので、どうかよろしくお願いいたします。

それでは次回の日程ですが、11月24日水曜日、午後3時30分から、今度は大曲図書館3階の視聴覚室で行います。よろしくお願いいたします。

伊藤教育長

今回は、11月24日水曜日、午後3時30分から、図書館の3階視聴覚室にて開催、として御提案です。皆様、御都合はいかがでしょう。

委員（異議なし）

伊藤教育長

ありがとうございます。次回定例会は、そのように予定いたします。

また、今、教育総務課長からもお知らせしましたが、来月11月10日水曜日、総合教育会議が、隣の第1委員会室で午後3時30分から予定されておりますので、教育委員の皆様、関係職員につきましては、御出席をよろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして、定例会を閉じたいと思います。

本日はありがとうございました。お疲れ様でした。

令和3年11月 日

記録者